学校番号	416

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　言語文化」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	記入して覚える古典文法　クリアノート（尚文出版） シンプルスタイルシリーズ　古文単語 301（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、様々な文章を「読み解く能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けられるよう学習します。また、課題に対して自ら考え、さらに周りの人と協働で考える活動を行います。

我が国の言語文化を形成してきた先人たちの作品や言葉に主体的にふれることにより、自らの言語感覚を磨き、思考を深め、感性を豊かにしていきましょう。

授業中のノートについては板書を書き写すだけではなく、授業のポイントや自身で気付いたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深められるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げられるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、「話すこと／聞くこと」の領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 [教材]古文に親しむ (古文入門)	b[読]:・「古文に親しむ」の各例文を音読し、時間の経過による国語の変化について理解する。 c:これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	小テスト	発問評価 ワークシート	授業態度 発表音読
	古典の文章に慣れ、現代に通じる話のおもしろさを知る [教材]児のそら寝 (古文入門)	a:・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 b[読]:・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 c:積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	定期考査 ワークシート 単語テスト	発問評価 発表・報告 定期考査 ワークシート	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集
	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 [教材]言葉の森を育てよう(ドリアン助川)(随筆 現代文編)	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉える。 c:日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	定期考査 ワークシート	発問評価 指名音読 話し合い 定期考査	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集
	詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取る。 [教材]春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた	a:表現の仕方や一語一語の書き方などの効果を理解する。 b[読]:口語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の思いを読み取る c:詩の構成や表現の仕方を吟味し、自らの体験等に引き付けつつ、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集
2学期	構成と展開を理解し、人物像と心情を読み取る [教材]とんかつ(三浦哲郎) (小説2)	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について批評している c:叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 学習課題	授業態度 指名音読 学習課題集
	古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 [教材]古典への招待(古文冒頭選) (古文入門)	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	定期考査 ワークシート 単語テスト	定期考査 学習課題	授業態度 指名音読 学習課題集

		c:古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。			
	行動や心理をもとに展開をとらえ登場人物の論理を説明する。 ［教材］羅生門（芥川龍之介）（小説4　現代文編）	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 b[　書　]:老婆が語る論理を、叙述をもとに読み解き、下人がどのように判断しようとしたか、説明しようとしている。 c:典拠となった説話と読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価 学習課題提出	授業態度
	文章の展開のしかたを的確にとらえ、筆者の考えを理解する。 ［教材］コルベ神父（遠藤周作）（小説5　現代文編）	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[　読　]:作品にあらわれているものの見方、感じ方をとらえ内容を解釈する。 c:叙述を読み、人を慕う気持ちや命の重さについて論じようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 発問評価	授業態度
	平安時代の女流文学および随筆文学について知る。 ［教材］うつくしきもの（随筆　古文編）	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[　読　]:随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確にとらえる。 c:進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。	定期考査 ワークシート 単語テスト	発問評価 学習課題作成物	授業態度
	和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ［教材］筒井筒（物語　古文編）	a:作品の歴史的、文化的背景を理解する。 b[　読　]:歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確にとらえる。 c:歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味をとらえようとしている。	定期考査 ワークシート	発問評価	授業態度
	時代を超えても変わらぬ人間の真情を叙述に即して読み取る。 ［教材］木曽の最期（物語　古文編）	a:作品の歴史的・文化的背景を理解する。 b[　読　]:内容や展開を的確にとらえる。 c:取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。	定期考査 ワークシート 単語テスト	発問評価	授業態度
	非日常の世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ［教材］夢十夜（夏目漱石）（小説6　現代文編）	a:読書の意義と効用を理解する。 ・作者について b[　読　]:小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえる。 ・作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 c:　設定の中での判断や根拠をとらえ、内容及び、作品世界を解釈しようとしている。	定期考査 ワークシート	発問評価	授業態度
3学期	短歌・俳句の特質を理解したうえで情景や心情を想像する。 ［教材］詩歌を楽しもう（俳句）（詩歌　現代文編）	a:短歌独自の特徴と、表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 b:[　話/聞　]:個々の作品の魅力について自分の言葉で他者に伝える。 c:自らの言語感覚を向上させようと努めている。	定期考査 ワークシート	発問評価 話し合い	授業態度
	紀行文と俳句のコラボレーションの魅力を読み味わう。 ［教材］奥の細道（紀行　古文編）	a:俳諧の歴史における作者の位置付けを理解する。 b:[　読　]文章と俳句との取り合わせによる表現効果を読み取る。 c:旅と人生との類似性について共感とともに理解しようとしている。	定期考査 ワークシート 単語テスト	発問評価	授業態度
	古典としての漢文を読むことの意義を知る	a:文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。	定期考査	発問評価	授業態度

	［教材］漢文入門 （訓読のきまり　故事成語 三編　漢文編）	b[　読　]:作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する c：故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	ワークシート		

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間